

# 活學

(「活學を講ず」より引用)

国士舘大学 楓教育会だより 第2号

## — 令和時代における「楓教育会」の使命 —

令和2年 1月 8日(木) 発行  
会長 田代 和正

即戦力を育む—面接練習会 討論も実践的に!

### 1 第1回面接練習・研修会 受講者：44名参加

6月22日(土) 世田谷キャンパス6号館の各教室にて

- (1) 個人面接 自己PRを30秒以内で。どうしましょう?
- (2) 活発な集団討論で意見を述べ合う参加者。正対は?
- (3) 日頃の大学生活、教師の目線で、言動を考えよう!



集団討論形式—「深い学び」とは—

教職課程運営センター長 辰野文理先生より 「皆さん、採用試験に向けて課題が明確になったと思う。本番に向けてしっかりと準備をしてほしい」と激励された。

(「国士舘大学新聞 第517号(令和元年7月25日(木)発行)」に掲載される。一部抜粋)

### 2 第2・3回教員採用試験面接練習・研修会 受講者：8/3(60名)、8/10(56名)

8月3日(土)、10日(土) 世田谷キャンパス34号館の各教室にて

- (1) 教員採用試験は、教師としての人間性・専門性が見られます。自分の思いを伝えましょう。
- (2) 集団面接、集団討論、個人面接や模擬授業などの実践的な練習を心がけよう。



教職課程運営センター長 辰野 文理 先生より



教職課程運営センター運営委員会委員長

「これまでの準備を遺憾なく発揮を」

山室 和也先生より「自分なりの言葉・ビジョンを」

### (3) 学校現場を代表して —準備を怠りなく、笑顔を忘れずに—

8/3(土) 齋藤 久(中野区立緑野中学校長)先生より、「東京都教員採用試験の心構え」

8/10(土) 菅野 潤一(新座市立第五中学校長)先生より、「埼玉県教員採用選考試験を通して」

両先生より、特別に、講義および激励の言葉をいただきました。ありがとうございました。

### (4) 激励 8/10(土) 兼子さやかさん(現：青森県田子町立田子中学校国語科教諭)



30年度卒業生。中学1年担任、国語科教員。女子バレー部顧問。激励の言葉として、「皆さんの良さ、誰にも負けない若さを発揮できるようにして欲しい。2次試験のためだけではなく、これからの人生の実践・体験ができることが重要です。若い先生方を子どもたちが待っています。頑張ってください。」

(5) 講師の先生方、講師打合せ 8/3、10(土) 8:00~ 講師 延べ45名



田代和正会長 あいさつ



講師の先生方より、近況報告

(6) 8/10(土)「場面指導」 —教育実践力、即戦力、人間力を総合的に判断します—



場面指導の課題(例)

- ◎「子どものことで」と保護者から、電話がありました。どのように、対応しますか?
- ◎教室で泣いている子どもがいました。あなたは、どのように声をかけますか?
- ◎授業中、落ち着いて取り組めない児童がいます。あなたは、どのように声をかけますか?

3 教員採用試験合格体験報告会 令和元年12月16日(月) 受講者: 29名参加

佐藤圭一学長は、参加者に対し、私の大好きな言葉として、創立者柴田徳次郎先生の「教育とは、知性を愛情で溶かして飲ませるものである」とのお言葉を紹介され、来春教壇に立つ学生と令和2年度教員採用試験に挑戦する学生を激励されました。



(報告者) 小島秀斗(神奈川県中学校理科)、横沢さくら(千葉県小学校)  
土谷百香(東京都小学校)、竹俣基(神奈川県高校地理歴史)  
藤橋由満(静岡県高校国語)、小宮康平(千葉県・千葉市中高共通社会) 6名



**4 赴任前実践力養成講座（世田谷キャンパス）令和元年12月21日（土）受講者：26名**  
 教職課程運営センター長 辰野文理先生は、「現役学生にとって、学校現場で学ばれてきた生きた言葉を伝えて欲しい。本当に学ぶべきことが多い。」と挨拶され、赴任する学生には「今日が、教師としての一歩です。学び続ける教師であって欲しい」と激励されました。



パネリスト（7名）の皆さんを紹介します。

- ◎小林克大（松戸市立北部小学校勤務）◎河合美彩（板橋区立板橋第五小学校勤務）
- ◎若井夢之介（川口市立在家中学校勤務）◎高井誓人（荒川区立第五中学校勤務）
- ◎後藤勇太（東京都立桜町高等学校勤務）◎内野駿平（北区立明桜中学校勤務）
- ◎霜村梨香（世田谷区立桜丘小学校勤務） 本当に、ありがとうございました。

（受講者人数は実人数です。なお、講師、報告者・パネリスト人数は除いています。）

**5 私の「教師への道」—教職支援室で学んで—**

—青森県教員採用試験合格、二次直前の先輩からのアドバイスのおかげです—

体育学部体育学科4年 永田 丈治

私は、青森県の小学校教員採用試験を合格することができました。教員採用試験を受ける前に、教職支援室に通い、助言+サポートをしていただきました。そのお陰で自信を持って採用試験に臨むことができました。二次試験前には、国士舘大学が主催する面接対策講座に参加し、国士舘大学出身の校長先生や現職教員から指導を受けることができました。そこで、青森県の中学校の国語の教員に去年現役合格した先生がいらっしゃって二次試験について、様々な事を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。国士舘大学では、教員をめざす学生に対して、手厚いサポートや環境が整っていると思います。私が、教員採用試験に合格できたのも、教職支援室や面接対策、大学の先生方の援助があってこそです。国士舘大学で教員を目指し学んできた経験を生かし、春から教員として頑張りたいです。

**6 私の「教師への道」—教職支援室で学んで—**

—夢の第一歩、子供たちの楽しそうな笑顔に出会うまで—

霜村 梨香（2018年度 文学部 教育学科 教育学専攻 卒業）

私は、国士舘大学を卒業して、現在は都内の小学校で養護教諭をしています。教員生活は大変なことも多い一方で、やはり子供たちの楽しそうな笑顔や充実感に満ちた様子を見るととても嬉しくなります。こういった夢の第一歩を全面的に支えてくださったのが、教職支援室の先生方でした。

大学3年時に、自らの将来に不安を覚えた時期がありました。そんな中、ふと立ち寄った教職支援室で、自分が何をすべきか具体的にアドバイスをもらい、自己を見つめ直すことができました。それから採用試験まで毎週通い、論作文の書き方や、面接練習など指導していただきました。先生方には多くの場面で助けていただき、大変感謝しています。大学での様々な出会いや経験が、きっとこれからの教員生活を支える貴重なものとなるはずです。共に教育現場を盛り上げていきましょう。

### 編集後記 (お知らせ)

「教職の国土館」の具現化を図るためには、楓教育会だからこそできる、全国の学校現場で活躍されている卒業生とのネットワークを充実させることが必要であると言われていいます。全国の先生方とのネットワークによって得られる教員採用試験対策等に関わる情報が「教師になりたいという学生の夢」を実現させる力につながります。特に、会員の皆様方には多くのご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。なお、今後とも、国土館大学教職課程運営センター、キャリア形成支援センターおよび同窓会のご指導・ご支援を頂きながら「学生のために」を合言葉に取り組んで参りますのでご理解・ご支援を賜りたくお願ひいたします。

◎問い合わせ先 楓教育会理事長 坂本 徳雄

(国土館大学 教職課程運営センター 教職支援アドバイザー)

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

TEL 03-5451-8206 (月~土、10:00~17:00。なお、閉室日あり)

(不在の時は、内容・連絡先を申し付けください。後日、担当者より連絡します。)

E-mail [tokusa@kokushikan.ac.jp](mailto:tokusa@kokushikan.ac.jp)

—令和時代の楓教育会ランド・デザイン(案)—

